

エコメールマガジン 2月18日

編集長 エコ保険函館(株)松浦則雄

記者エコスタッフ他部外応援団多数

2006.2.18 【オール北海道市町村で震度想定可能】

3月から北海道 192 市町村全域(現在の 1.8 倍)で地震測定することになりました(札幌管区气象台)。現在は地震測定を防災科学研究所が、全道 126 箇所で測定しておりますが、観測システム上の処理能力を高めた事から、空白地帯を解消することが実現しました。

この結果、従来は地震発生から 5 分から 7 分後の、地震発生の气象台発表が間にあわなかったが、このたびのシステム更新によりデータ処理時間が短縮され、これまで空白地点だった 66 市町村の震度情報を得ることが可能になりました。(2.18 日経記事抜粋)

2006.2.18 【中学 1 年にも 35 人学級拡大】

北海道教育委員会は現在小学 1 年と 2 年が導入している「35 人の少人数学級」を、新年度から中学 1 年にも導入します。中学校は教科ごとに教師が変わるなど、小学校との学習環境の違いが多く、情緒不安定になる生徒もいると言う。また中学になるといじめに遭ったり、不登校になったりするケースが増えるとされ、きめ細かく生徒をケアするための体制整備の要望が強かった。対象は、現在 2 学級以上あり、1 学級の平均生徒数が 35 人を超える中学校。従来は 40 人定員で、例えば 80 人在籍の場合は 2 学級であったが、新年度からは 3 学級になります。公立中学校の 22%にあたる 151 校が対象で、3 分の 1 は札幌市内と見られます。(2.18 北海道新聞記事より抜粋)